＜先週の説教から＞

『ルカ89 ― 神の国をもたらす者たち』

武田 真治　牧 師

イザヤ書　40：6～8　　ルカ福音書　10：3～12

イエス様はガリラヤ地方での伝道から、首都エルサレムへ向けて＜伝道の旅＞を始められます。そのための準備としてあらかじめ「主は７２人を任命し、御自分が行くつもりのすべての町や村に二人ずつ遣わされた」のでした。その町や村の様子を調べ、泊まれる宿や広場などを探し、実際に伝道活動も行ってみるためでした。このことはその町や村の調査だけでなく、その新しく選ばれた弟子たちの訓練＝実地研修の意味も含まれていたのでした。だから敢えて『財布も袋も履物も持って行くな。途中でだれにも挨拶をするな』等と命じられるのです。ここで「挨拶をする」と訳されている言葉は（アスパゾマイ）という言葉ですが、これは（強く抱擁する）という意味を持つもので、当時の挨拶は、抱擁（ハグ）をしてお互いの近況や知り合いの情報などを交換したうえで、祝福の言葉を語り合うという一連の儀式のようであり、時間を取られるものでした。故に、イエス様は敢えて「途中でグズグズ道草をせず、何より遣わされた場所に行きなさい」という教えであることが分かります。次の「どこかの家に入ったら、まず、『この家に平和があるように』と言いなさい。」という言葉も、イエス様の福音は各々の家に真の“平和・平安”を与えるものだという意味もありますが、もうひとつ、弟子達にとっての教え＝あなたがたはその家に“平和・平安”をもたらす存在として派遣されている、でもあったのです。

同じことが、その次の「その家に泊まって、そこで出される物を食べ、また飲みなさい。」も彼らへの訓練を含んでいる教えと言い得ます。その地に住んでいる方々と同じ物を食べ、一緒に生活をすることから伝道は始まるのだということでしょう。何か、自分たちが与えられた信仰や教えが、他のあらゆる考えや生き方を否定し、凌駕して、相手を支配するような感覚を持ってはいけないと。その地でともに生きて、ともに働き、生活することの中でこそ輝きを放ってくる教えであり信仰であるということを信頼して、その場所で生きることを第一にしなさいというイエス様の指導であったのです。故に、次の「他者に対して、完全な新しい考えや思想である「働く者が報酬を受けるのは当然だからである。」も、後のキリスト教の歴史では、伝道者は生活を維持するための仕事をすることなく、伝道や牧会をすることに集中することで報酬を与えられるという意味に受け取られるようになって行きますが、ここでは明らかに「働く」は（その泊まっている家の仕事を手伝うこと）であり、それで「報酬＝食事や援助」を得られるようにと教えられているのでしょう。当時は、働いても報酬をもらえない奴隷制度が存在していましたから、伝道者は奴隷ではない、働くことで報酬を得よと！

そして“伝道の本質”は次の「その町の病人をいやし、また、『神の国はあなたがたに近づいた』と言いなさい。」という言葉に集約されています。その町や村に《心身の癒し》と《み国が近づいたという福音の説教》です。今日、この２つの業がちゃんと為されているのだろうかと考えさせられます。私たちもまたこの地で訓練中なのですから！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．10 月 21 日（水）20：00
　　Ⅱ．10 月 22 日（木）10：30
聖書研究：　ヨブ記
祈祷主題：　教団総会・宗教改革記念日・聖徒の日を覚えて
担 当 者：　（水）KY　（木）YS
祈りに覚える人：　HK さん　HH さん
＊ハンナの会　10 月 20 日（火）10：30～

【教勢報告】

主日礼拝　男 20　女 41　計 61
祈 祷 会 Ⅰ．男 4　女 2　計 6　Ⅱ．男 1　女 6　計 7
日曜学校　幼稚科 5　小中科 7　計 12

【次週主日礼拝】　１０月　２５日（日）

聖　書：　詩 編 ６５編　１～１４節
　　ヘブライ人への手紙　９章１１～１４節
説　教：　「詩編 65 ― その恐るべき御業を通して」
　　武田 真治 牧 師
讃美歌：１４８（1）、３２、２２３（1～4）、２２３（5～7）、３６３、８８（1）

【次週当番表】

司式:IY 長老　奏楽:　礼拝:KY 長老
献金：HH　HM　受付：KH　SY
会堂準備：OK　KH　KA　TN
　　NE
看板：NY　週報：IT　お花：IY

【次週集会予定】

礼拝前：・聖書輪読会　・はこぶねルーム
礼拝後：・お茶の会　・牧師と語る会　・聖歌隊練習
　　・牧会/礼拝/伝道/社会教育 各委員会

６７－４３

週　報

2026 年度　教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

２０２６年　１０月　１８日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**
牧　師　**武田　真治**

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549